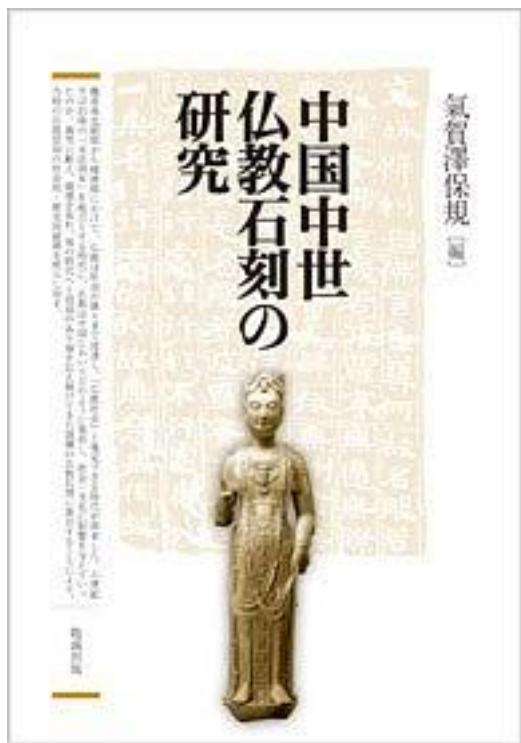


中国中世佛教石刻の研究



[中国中世佛教石刻の研究 下载链接1](#)

著者:氣賀澤保規 編

出版者:勉誠出版

出版时间:2013-4-10

装帧:精装

isbn:9784585210122

魏晋南北朝期から隋唐期にかけて、佛教は社会の隅々まで浸透し、「佛教社会」と規定できる時代が到来した。

6世纪半ば以降の「末法到来」を起点とする時代に、佛教は中国においてどのように変容し、社会・文化に影響を与えていったのか。

風雪に耐え、破壊も免れ、後の時代へと佛教信仰の痕跡を伝え続けてきた諸種の佛教石刻に着目することにより、当時の佛教信仰の社会的・歴史的展開を照らし出す。

作者介绍:

氣賀澤保規（けがさわ・やすのり）

1943年生まれ。明治大学文学部教授・同東アジア石刻文物研究所所長。専門は隋唐政治社会史、東アジア交流史。

編著書に『則天武后』（白帝社、1995年）、『中国仏教石経の研究一房山雲居寺石経を中心にして』（編著、京都大学学術出版会、1996年）、『府兵制の研究一府兵兵士とその社会』（同朋舎（のち京都大学学術出版会）、1999年）、『復刻洛陽出土石刻時地記（郭玉堂原著）一附

解説・所載墓誌碑刻目録』（汲古書院、2002年）、『洛陽学国際シンポジウム報告論文集東アジアにおける洛陽の位置』（汲古書院、2011年）、『中国の歴史6 級爛たる世界帝国

隋唐帝国』（講談社、2005年）、『遣隋使がみた風景—東アジアからの新視点—』（編著、八木書店、2012年）などがある。

目录: 序論 中国中世佛教石刻の地平 氣賀澤保規

第Ⅰ部 山東佛教石經の歴史的背景

山東泰嶧山区における刻経の新資料と北朝隋唐期の佛教 賴非梶山智史訳

空王・空王仏・大空王仏—北朝末期佛教石刻に見る佛教の中国的変容— 手島一真

山東の摩崖刻経—諸訳・諸版本との比較結果、及び英訳の方針について—

クラウディア・ヴェンツエル 羅翠恂訳

第Ⅱ部 山東佛教石刻の美術史的考察

隋時代の山東佛教造像について 八木春生

隋仁寿舍利塔と青州勝福寺址 長岡龍作

泉屋博古館所蔵「乾元孝義皇帝八国王等」銘舍利容器の空間構成 ウオーリー朗子

《コラム》悟りの時代：東アジア美術史におけるグローバルな視座一口ター・レダローゼ、アデル・シュロンブス両氏インタビュー 羅翠恂訳

第Ⅲ部 中国中世佛教石刻の多様性と広がり

石碑の意匠「穿」について 德泉さち

四川佛教石刻の性格 肥田路美

房山雲居寺石經事業と唐後半期の社会 氣賀澤保規

おわりに 氣賀澤保規

・・・・・ (收起)

[中国中世佛教石刻の研究 下载链接1](#)

标签

金石

氣賀澤保規

佛教

汉学

魏晋南北朝史

藝術史

佛教史

气贺泽保规

评论

瞄了下空王仏和雲居寺兩篇

[中国中世佛教石刻の研究 下载链接1](#)

书评

[中国中世佛教石刻の研究 下载链接1](#)